

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	○思いや意向の把握 その都度、職員間で情報交換をしながら現状の把握に努め、実施に向け取り組んでいるが、困難な場合も多く、思いや意向を把握できていないことがある。	職員間で情報交換しながら一人一人の思いを知り、希望に応えられる様に努める。	一人一人の思いを傾聴し、希望や以降に応えられる様に努める。 日頃からしっかり話し合える場を作る。	12ヶ月
2	6	○身体拘束をしないケアの実践 全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいるが、ふとした声掛けがスピーチロックになっていることがある。	身体拘束委員会を中心に研修会を開催し、知識や理解を深めている。	身体拘束員が中心となり、気づき表を作成し、意識付けをする。 職員間で注意し合える関係を作る。	12ヶ月
3	30	○かかりつけ医の受診支援 利用者の状態や薬の調整など、情報共有しているが伝わりにくいことがある。	受診時には情報提供書を作成し、適切な医療が受けられる様に支援する。	職員間で日頃の様子や変化を把握し、情報提供する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

### 目標達成計画

作成日: 令和3年12月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の都合でその日の過ごし方が違う。	その日の担当職員を決め、レクリエーションができるようにする。 午前、午後の30分ほどで出来るレクリエーションを考え、実施していく。	誰でも出来るようなレクリエーションの内容を考える。 個別メニュー(下肢筋力アップ運動)を行う。	12ヶ月
2	30	○かかりつけ医の受診支援 利用者の状態や薬の調整など、情報共有しているが伝わりにくいことがある。	本人と家族の希望に沿い、かかりつけ医に情報提供書を提出し、家族にも説明する。 受診時に伝えてもらうよう事前に連絡する。	担当利用者を決め、担当職員を中心に情報収集をし、情報をまとめる。	12ヶ月
3	41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通して確保できるようにする。	一日の水分摂取量を記録に残し、見える化を図る。 管理栄養士と相談し、健康管理に努める。	飲み物の種類や形状など、趣向を凝らして提供し、状態の変化に気を付ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。